

ペットの熱中症を防ごう！

真夏の暑い日が続いています。ペットも熱中症になるのをご存じですか？

夏の暑さで、熱中症となり、命を落とすペットがいます。犬や猫は密な毛に覆われており、汗線が足の裏しかないため、体温調節が苦手です。特にフレンチブルドッグやペルシャ等の短頭種やシベリアンハスキーなどの北方犬種、幼齢や高齢の動物、肥満や疾患のある動物は熱中症になりやすいと言われています。

【熱中症の予防として、以下の点に配慮しましょう。】

- ・屋外で飼う場合は、夏場だけでも玄関先や涼しい日陰に避難させてあげてことを考えましょう。難しい場合、1日中日陰の場所（日よけ）、風通しの良い場所を必ず作ってあげてください。
- ・常に水を準備し、冷たい水が飲めるよう、こまめに交換しましょう。
- ・屋内で飼う場合は、エアコン等で適温を維持しましょう。夏場の屋内は熱がこもりやすく、熱中症の危険があります。
- ・車に乗せる場合は、車内を適温にしましょう。特にエンジンを切った車内での放置は絶対にやめましょう。エアコンを切ると車内温度はたちまち急上昇しますので、短い時間でも油断は禁物です。
- ・日中の暑い時間帯の散歩は控えましょう。真夏のアスファルトは50～60℃にもなり、地面に近いペットは熱中症になる危険があります。（肉球の火傷も心配です）
- ・ペット用の熱中症対策グッズも市販されていますので、状況に応じて活用してもよいでしょう。

熱中症は夏場だけではなくありません。夏前の体が暑さに慣れていない梅雨明けの前から気を付けましょう。暑さだけではなく、真冬の寒さや雨風を防ぐ対策もしっかり行いましょう。

【調子が悪くなったら】

ペットは具合が悪くてもどこが痛いと言うことは出来ません。飼い主が毎日よく観察して、異常を見つけたら、かかりつけの動物病院に相談しましょう。